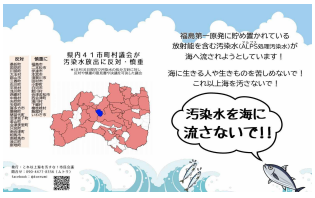
3・11 東京電力福島第一原発事故から11年

フクシマを忘れない　原発再稼働NO！

福島は今

福島県ではいまも2万7千人を超える方々が県外での避難生活を余儀なくされ、長岡市にも185名の方が避難しておられます。（2022年1月末現在）

廃炉に向けた作業は困難を極めており、1号機では最近になってようやく原子炉格納容器内にカメラが入り、デブリ（溶融核燃料）とみられる堆積物を確認できたといいます。デブリは取り出せるのか、どこに保管するのか…。放射能、原子力の恐ろしさを今さらのように知る思いです。



汚染水を海に流さないで！

国と東電は、汚染水貯蔵タンクが満杯になるとして、トリチウムなどの放射性物質を含む「ALPS（多核種除去設備）処理水」（汚染水）の海への放出を急いでいます。ALPSで除去しきれなくても基準値以下に薄めて放出するから問題ないとしています。震災後、漁業者が苦労を重ねてようやく取り戻しつつある漁業に大きな打撃を与え、食卓の安全をも脅かすことになります。

今年に入り、資源エネルギー庁と復興庁が連名で作成した福島第一原発事故に伴う処理水に関するチラシを、全国の小中高校に直接届けて積極的な活用を呼びかけていることがわかりました。チラシは「トリチウムの健康への影響は心配ない」「海水中のトリチウム濃度は水道水と同じレベルになる」などと記述。海に流す際の問題点や住民の不安には一切ふれていません。

配布を中止、回収するよう求める声があがっています。

3・11長岡行動のご案内

《講演とスタンディング》

☆午後1時30分～　高齢者センターしなの

米山隆一さんのお話をきいてみませんか。

花角現知事が原発の三つの検証委員会を骨抜きにしようとするなか、知事時代に仕組みを立ち上げた米山隆一衆議院議員から話していただきます。

☆午後3時～　大手大橋東詰へ移動して

「なくそテ原発実行委員会」に連帯し、スタンディングでアピールしましょう。

（詳細は同封のチラシをご覧ください）

なくそテ原発！

検証総括委員長池内了さんの発言より

◆最初のロードマップでは、各委員会から進捗状況を報告していただいてフィードバックしていくと。それが一切なかった。（略）報告書が知事に直接手渡されてしまってこの総括委員会がスキップされてしまった。◆さまざまな意見を聞く場を設定して、主役はとにかく新潟県の人々ですから、その人たちが具体的にどう考えどのような要望を持っているかを汲み上げながら総括に向かいたい。

【イベントのご案内】　3月13日（日）トモシアで　18時から　長岡アジア映画祭実行委員会主催　＊ライブ ＊高校生平和大使講演 ＊「ほうきに願いを」上映　※50席　※前売券千円

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第120号　2022年2月21日発行

連絡先　広井洋子　長岡市寿2－5－15
電話・FAX　0258－24－2870
佐藤　090-4925-3707